

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	VIF+友部			
○保護者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2025年1月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2025年1月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人の発達に合わせた支援を行っているところ。	5領域を踏まえた個別支援計画に沿った個別プログラムと小集団プログラムを日々実施している。	より魅力的な支援内容になるよう職員間で話し合い、コマ担当職員が工夫して行っていく。
2	専門的な知識を持つ職員による個別療育や小集団療育、発達の支援ができているところ。	専門的視点で独自の療育プログラムの実施と定期的にイベント等を実施し飽きのこない療育をしている。	研修制度やOJTを通じて職員の専門性を更に高めていく。
3	保護者様やお子様からの信頼が厚く、日々安心して過ごせる居場所となっているところ。	お子様や保護者様に寄り添う支援を行っている。 ご相談があった場合には電話やLINE、連絡帳だけでなく、日々の送迎時や時間調整を行い個別面談を実施したりしてお子様のサポート体制を整えている。	保護者様からの意見や要望を伝えやすい環境を作っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の狭さが感じられるところと完全バリアフリーでないところ。	定員数に対してギリギリのスペースであり、玄関に段差があるため車いす使用のお子様の受入れ環境が整っていない。	今後はもっと快適に過ごせるような場所への移転を考えている。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。	曜日の偏りや時間帯の課題、感染症の対策等課題等が多いため実施の機会がない。	課題を一つ一つクリアして、感染症に留意しながら積極的に地域の方々との関わりを行っていく。
3			